

会議録

- 議事内容 2023年度 6月定例教育委員会
- 日時 令和5年6月15日(木) 13:30~16:00
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 橋本 浩明
教育委員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一・石原友紀
学術政策員 陰山 茂
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
竹内スポーツ振興課長・松本給食センター長
教育総務課 澤谷

■ [会議の内容]

1 開会あいさつ

- ・教育長

2 前回議事録確認

- ・全委員一致で承認

3 議案

- ・議案第10号 令和6年度使用小野市立学校における教科用図書の採択要領の制定について(学校教育課)

小野市立小学校、中学校及び特別支援学校の管理運営に関する規則第9条の規定に基づく教科用図書の採択にあたり、手続きの根拠となる採択要領を別紙のとおり制定するため、委員会の議決を求める。

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q:教科書採択の流れの中に市民からの意見とあるが、実際に市民からの意見というものはあるのか。(教育委員)

A:教科書の採択は北播磨地区の協議会において検討しますが、小野市が事務局の当番だったときは、図書館で教科書を展示し、見に来ていただいた方にアンケートを書いていただき、それをまとめて市民の意見としてお伝えしていた。多様な教科書があるということや、昔と比べて色がたくさん使われているので見やすくなっているというような感想が多かったように思う。(事務局)

Q:これからまた教科書を見せていただくことになると思うが、様々な出版会社があり、それぞれの教科書の内容が良いか悪いか見ながら採択するということか。(教育委員)

A:教科書は北播磨採択地区協議会の調査員である現役の先生方が、各教科書等について調査し、それぞれの優れている点や劣っている点について、協議会で報告します。実際に先生方は選ばれた教科書で教えていくことになるので、教えやすさや内容を判断されて、最終的に子どもたちのために使うならこの教科書が良いと各グループで決めて報告するという流れです。(教育長)

A:点検する項目が色々あり、それぞれの項目について評価をしていったと思う。(教育委員)

Q:教えやすさ等は先生方のほうが良く知っているので、先生方で判断されたいと思うが、やはり思想的なものや歴史的な捉え方といった部分は、皆で統一してチェックする所だと考える。(教育委員)

A:そういった部分も含めて教科書を選んでいく。また、1人の先生が評価するわけではなく、各地区の先生方が合意で評価されるので、思想が偏ってしまうような可能性は低いと考える。(教育長)

Q:5教科以外の教科や道徳の教科書もここに含まれているのか。また、資料や図鑑といったものも含まれるのか。(教育委員)

A:教科書と言われているものは全て含む。それから、地図帳は含まれるが、資料集等は含まれない。(事務局)

Q:道徳の教科書は地域によって違っていると感じるが、全国で推薦されているものを集めて、その中から選ぶような形になっているのか。(教育委員)

A:道徳が教科化されてから、扱っている教科書会社が増えた。何種類か教科書があるので、他の教科と同じ手順を踏んで選ばれている。道徳はその他にも、国や県が作っている副読本もあり、年間でどの教材を何時間使うという目安がある。(事務局)

(議案第10号について、承認を得る。)

4 協 議 事 項

☆今月の議論のテーマ:「学校給食費無償化の現状と課題」について

- ・事務局より協議資料を用いて説明
- ・各教育委員からの疑問点の質疑及び議論を展開

1. 現状

公立小中学校の給食を無償化する自治体が増えている。

・県内で実施している自治体:相生市・H23年度～、加西市・R4年度～
近年、物価高騰に対する生活支援政策の面から保護者の負担軽減策として、一時的な学校給食無償化が導入される動きが広がっている。また、国においても無償

化の検討が始まっている。

学校給食法においては、学校給食に関する経費負担が明確に定義されており、人件費や施設整備費などは学校設置者の市区町村、食材費などは保護者の負担と定められている。

2. 無償化の課題

①財源の確保

- ・国は学校給食費の無償化のために、自治体向けの新たな交付金を創設すべきとの考えを示している。しかし、具体的な財源が明示されていない。
→市が単体で実施する場合、更に多額の財源が必要となるうえ、これが毎年必要となり、持続できるかが大きな課題となる。
- ・無償化を一旦実施し、何年か後に取りやめるとなった場合、無償化で助かっていた保護者に学校給食費の納付を依頼するハードルが高くなる。

(参考)小野市における学校給食費無償化に必要な額(概算 令和5年度の場合)

※生活保護制度、就学援助制度の給食費相当額を除く

- ・1学期の場合 約1億7,000万円
- ・2学期と3学期の場合 約1億1,000万円
- ・3学期の場合 約4,200万円

②給食に対する関心の低下

- ・学校給食費を保護者が負担することで、わが子が食べる食材や給食内容に関心を持ち、チェックいただけることが期待できる。
→無償化により保護者の関心が低下する可能性が考えられる。

3. 小野市の無償化に対する考え方

- ①生活困窮世帯について、要保護世帯は生活保護制度により、準要保護世帯は就学援助制度により、すでに学校給食費の無償化が実施済。
- ②人件費、施設管理維持費は市の一般会計が負担しており、学校給食費の実負担額は実質半額程度に収まっている。
- ③食材費相当額を保護者の方に負担いただくことによって、日々の給食内容に関心を持っていただける機会にもつながっていると考えられる。
→これまでから学校給食費の無償化は実施しない方針だが、今後も引き続き、国の動向を注視し、情報収集や研究を行う。

4. 物価高騰に対する小野市の対応

令和4年度において、“新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金”を

活用することにより、食材費高騰分の保護者負担への転嫁を防ぐとともに、給食の質・量の維持を図った。

→令和5年度も交付金を活用し、食材費高騰による保護者負担の軽減を図っている。

(参考)小野市の学校給食費(保護者負担)の額

- ・小学生 月額4,200円
- ・中学生 月額4,540円
- ・幼稚園 日額 250円

■【説明事項に対する教育委員会からの照会及び意見】

Q:兄弟がいたとしても1人当たりの金額は変わらないのか。(教育委員)

A:金額は変わらない。世の中には家で十分に食べられない子もいらっしゃるので、1食あたり240円で理想的なカロリーと栄養価が取れる給食が世の中で存在する価値はあると考える。これだけ物価高になったような段階で、1食あたり240円という給食費が維持できている状況において、さらなる無償化が必要なのか、もう一度本質的に給食費の無償化をすることが、他の子育て支援と一緒に考える必要がある。(事務局)

Q:生活困窮世帯の基準というのは、全国で一律なのか。(教育委員)

A:就学援助制度の基準は市によって違っている。生活費を基準に算定しているので、都会の方が基準は高いと思われる。(事務局)

Q:準要保護世帯というのも小野市の判断になるのか。(教育委員)

A:小野市の基準である。どこかで基準を作る必要があるので、生活が苦しいのではないかと、というラインが基準になっている。(事務局)

Q:給食費を払っていないから給食が食べられないという子どもがいるわけではないということでしょうか。(教育委員)

A:そのとおり。(事務局)

Q:給食費を何か月滞納したら給食が食べられなくなるといった基準等はあるのか。(教育委員)

A:そういったものはない。(事務局)

- ・給食費の徴収にかかる手間は無いほうが良いと思うが、無償化の現状と課題を聞いて、今のままで良いのではないかと考える。(教育委員)
- ・脳科学理論から言うと、食べ物に対する関心を高めてほしいのに、無償化によってそれが薄まる可能性もあるというのは心配だ。1食250円程で栄養価のあるものを食べることができて、体作りの一端になっているという点で

は、ありがたいという気持ちが高い。月額で見ると大きい負担だと思ってしまうが、日割りで考えると受け入れやすいと思う。(教育委員)

- ・生活のことを考えると無償化した方が楽になるのかもしれないが、親として給食費を負担しているから給食に対して関心が強くなり、子どもたちとの会話でも給食に関することが出てくるのではないかと思うので、やはり全く負担しないとなると関心が薄れる可能性はあると考える。加西市は無償化しているが、無償化したことで保護者の意識が変わったのか聞いてみたい。(教育委員)

Q:無償化することで、残飯についても増えるのではないか。(事務局)

A:現在は、1人あたりスプーン1さじ程度の量が残っている。国の方で必要カロリー数が決められており、それを下回ることはできないので、決まった量を出さざるを得ないのが実情である。人によって食べる量が違うことや、その日のメニューが好きか嫌いかによって、残ってしまうことがあるので、毎日完食というのは難しい。(事務局)

A:食べたい物を食べたい量だけ出せるようなシステムを構築できない限りは、残飯があるのは仕方がないと考える。昔は食べなかったら無理やり食べさせられていたが、今の時代に食育も含めてそのような教育が果たして妥当なのかというところで、今はそういう体罰はいけない、無理に食べなくても良いという方向に世の中は変わっていったと思う。そうなるとフードロスというのは、ある程度は容認せざるを得ないのではないか。(事務局)

A:5年生からご飯の量がかなり増える。4月から6月に自分で食べられる量を食べきれたという体験を積み重ねていくと、成長していくにつれて子どもたちの食べる量も増える。無理やり食べさせるようなことをしなくても完食するようになっていく。川島隆太先生も、生活習慣が整うと学力も上がるとよく言われているが、給食をしっかり食べられるような学年やクラスは、後半に伸びるような感覚がある。やはり4月から6月の給食指導は重要だと考える。(事務局)

A:ご飯の量については、各学校にアンケートを取り、これくらい減らしてほしいといった意見を聞いて量を調整するというのを、数年前から行っている。(事務局)

Q:高学年になったらご飯の量が増えるということで、それに比べると1年生のご飯の量はやはり少ないのか。(教育委員)

A:そのとおり。(事務局)

Q:学年によってご飯の量は変わるが、小学生の給食費は全学年同じ金額ということか。(教育委員)

A:給食費の金額は変わらない。小学校は1・2年生、3・4年生、5・6年生、という3段階で分かれている。確かに学年で食べる量は変わってくるが、そこまで厳密に給食費を分けて徴収するのかということもあり、一律の金額にさせ

ていただいている。(事務局)

Q:中学校になると、給食の量も増えるし、食べる時間も5分くらい短くなるので、7年生の子どもからすると大変なのではないかと思う。(教育委員)

Q:運営協議会でも、給食には満足しているが、もう少し食べる時間をとってほしいという意見が何回かあった。何か良い方法はないのだろうか。(事務局)

A:食べ方にも工夫をしないと時間内に食べきれないし、配膳も時間がかかると食べる時間が減ってしまうので、子どもたちと相談して、皆で協力しようといった一連の指導になる。それから、4時間目の授業は時間通り終わるというのは大事にしていた。それを長くすると、給食の時間を圧迫してしまうので、4時間目を時間通り終わらせて、すぐに給食の準備にかかれるようにしていた。(事務局)

・給食については色々な考え方があって当然だが、無償化するとなると財源がこれだけ必要だということがかなり大きい。現状はなかなか知られていないと思うので、給食費の特徴を広報で周知してもいいのではないか。(教育長)

Q:あまりお聞きする機会がないが、1食240円というのは保護者の方からすると高いと思われているのだろうか。(事務局)

A:高いとは思っていないと思う。逆に、半分しか負担していないという認識の方が低いかもしれない。実際はこれくらいの値段だが、その中で保護者の負担はこれだけだという方が、インパクトがあるのではないか。(教育委員)

Q:先生方も同じ金額で給食費を払っているのか。(教育委員)

A:そのとおり。(事務局)

Q:教職員の先生方も食育の一環や、同じものを食べることで子どもに目配りしていただくという意味で、同じ金額で徴収している。最近の課題として、現在、物価高騰対策として市費から補填しているが、これは保護者の負担軽減のために行っていることなので、先生からはそれを除外した金額を徴収すべきという意見が付与された。それを除外するとなると、実質半額程度になっている負担額も本来の金額で徴収するのかという話になり、そうなったときに、給食を食べたくないという先生がもし出てきたとしたらどうするかという問題もある。そうすると先生から徴収する適正な価格はいくらなのか、ご意見をお伺いしたい。(事務局)

A:保護者の負担軽減のためなので、物価高騰対策の分を除外した金額を徴収しても良いのではないかと考える。(教育委員)

A:子どもと同じ給食を食べている方が会話が出来る等、給食を食べることは先生にとってのメリットもあるのではないか。(教育委員)

A:物価高騰対策として補填されている分を払うというのは良いとは思いますが、それ

以上になると難しいのではないか。お弁当を持ってきて職員室で食べている先生はあまり多くはなかったが、金額が上がると、そういった先生が増えるかもしれない。(教育委員)

- A:給食はある一定量を食べないといけないので、我慢して食べている先生も中にはいらっしやると思う。やはり子どもと向き合って話をしたいときには、給食をきちんと食べて指導したいと思う先生はたくさんいらっしやる。(事務局)
- ・物価高騰分だけでなく、現在半額程度に収まっている分まで全額負担となったら、給食を食べないという先生は出てくるだろう。そうなったら、給食は絶対に食べなければいけないということではないので、認めざるを得ない。先生の給食費については難しいところで、金額を引き上げてもいいが、全体の義務化等のことを考えると今のままでも良いのではないかと考えられる。(教育長)

5 報告事項

- ・令和5年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■【学校教育課関連】

①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・教育行政顧問の川島隆太教授と面談を行った。
デジタルでは脳は発達しないこと、スマホを触りすぎることによって脳が発達しない部分があるので学力が下がることを教わった。安全性や有効性がわかるまでは、デジタルの使い方は慎重にいく必要がある。また、非効率だからこそ学べることがあるので、紙や鉛筆を使った今まで行ってきたことに関しては、これからも続けていく必要があるというアドバイスをいただいた。それから、基本的な生活習慣ができていないと、いくら学習しても頭に入らないので、やはり睡眠とか食事といったところも大事にする必要があるということも教わった。
- ・これらをもとに、校長会や学力向上推進委員会、夢と希望の教育推進委員会でも、脳科学とデジタルの関係について検討を進めている。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告
- ・市初任者研修(6月5日 適応教室長による不登校研修)
- ・就学援助事務(申請書等の確認)
- ・修学旅行の完了(旭丘中・小野南中・小野中)

※コロナ感染症等によるキャンセル及び看護師等の随行もなし

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・ 6月5日に市初任者研修会、6月8日に臨時講師研修会を開催した。
- ・ 夢と希望の教育推進委員会（業務改善の取り組みについて）

④学校教育課情報

1 市の取組予定

- 5月12日 校長会（生成AIと学校教育）
- 5月16日 千葉県袖ヶ浦市議会
行政視察受け入れ8名（夢と希望の教育）
- 5月17日 富山県小矢部市議会
行政施設受け入れ10名（夢と希望の教育）
- 5月30日 川島隆太教授研究室 指導助言
- 5月30日 夢と希望の教育推進委員会（スマホ依存・デジタル依存）
- 6月5日 市初任者研修①校長会（働き方改革と人材育成）
- 6月8日 学力向上推進委員会・臨時講師研修会①
- 6月13日 校長会
- 6月15日 臨時講師研修会②
- 6月22日 臨時講師研修会③
- 7月28日・29日 兵庫教育大学・小野市連携 サイエンス祭(エクラ)
- ◆5月中旬 学校長面談（年度当初の方針管理）
- ◆7月行政視察 栃木県真岡市、静岡県藤枝市

2 学校の取組

○中学校修学旅行

- ・ 5月22日(月)～5月24日(水)：旭丘中 長崎方面
- ・ 5月24日(水)～5月26日(金)：小野南中 沖縄方面
- ・ 5月29日(月)～5月31日(水)：小野中 長崎方面
- ・ 9月5日(火)～9月7日(木)：河合中 東京方面

3 学校の状況等

○5月4号報告6件（問題行動等）

○4月の不登校の状況

- ・ 小学校 8名（前年 7名）
- ・ 中学校 25名（前年 22名） 合計 33名（前年 29名）

○5月の不登校の状況

- ・小学校10名（前年10名）
- ・中学校48名（前年41名） 合計58名（前年51名）
- ・人数がかなり増え、特に中学校で数が増えており、非常に心配なところである。適応教室とも連携をとりながら、対応を進めている。また、各学校も家庭訪問や子どもの様子を聞くなど、寄り添った指導を続けている。なかなか効果的な改善策というのは見つからないが、今後も今の対応を継続していきたいと考えている。

■【**説明事項に対する教育委員からの照会及び意見**】

Q:小野中学校の参観日に行った時に、トライやるウィークの感想が廊下に貼ってあったが、不登校の子どもたちはトライやるウィークはどうしているのか。(教育委員)

A:行けていない子もいると聞いている。例えば不登校気味の子もだと、5日間のうち1日行けた、というようなことは聞いているが、全体的にどれぐらいの子が行けていないのかということは聞いている。ただ、学校からお声掛けは継続してされていると思う。(事務局)

Q:不登校の中には、学校は好きなのだが、急激な成長により心身のバランスを崩したことで行けなくなった子もいると聞いて、本当に不登校の原因は多様だと考える。(教育委員)

A:毎月調査は行っており、学校から報告がくるが、どの原因でどれだけ不登校や行き渋りが増えているのか、といった把握は難しい。また、家庭によって様々な理由があるので、それぞれのお話を聞いて寄り添いながら指導されている所である。(事務局)

Q:不登校について、中学校ではどの学年が一番多いのか。(教育委員)

A:中学校では、8年生と9年生が数としては多くなっている。(事務局)

Q:児童館チャイコムで、18歳までの子どもを対象に、悩み相談に応じるという新しい取り組みを始めたと聞いたが、どのような感じか。(教育委員)

A:されることの内容は聞いたが、どれぐらいの子どもたちが行き、どのような相談があったかといった具体的な報告は、こちらには上がってこないのわからない。学校教育課へこういった取り組みをするということで相談に来られたときは、適応教室で行っていることと被らないようにだけ気をつけていただきたいということ、それから、子育て支援課がしている支援の方法や発達支援室の動きもあるので、そちらともよく相談してほしいという話をした。(事務局)

A:詳細をきいて、連携できるのであれば連携したほうが良いと考える。(教育長)

Q: 就学援助支援について、申請書を入学当初に提出する必要があると思うが、これはもう締め切ったのか。就学援助支援のことを知らなかったという方からご質問いただいたので教えてほしい。(教育委員)

A: 今事務を進めているところだと思うので、また把握して報告する。(事務局)

- ・ 市場小学校と来住小学校で、小学校6年生が各都道府県についてスライドを作り、英語で2分間のプレゼンテーションを行って、それを留学生に見てもらって評価いただくということをした。スライドを上手に作っていて驚いたことと、人前で英語を使ってしっかりと話す姿勢も感動したので、日々の先生方の指導のおかげだと思った。(教育委員)
- ・ 小野中学校の参観日で、支援学級の子どもたちがカードゲームを使って、この気持ちはどんな感じか話し合うということを行っていた。カードゲーム形式で興味をもたせて集中させることで、会話が弾み、活発に意見を言っていたように思った。このようなカードゲーム使った取り組みを初めて見たので、非常に興味深かった。(教育委員)

Q: 現在、ベトナムは夏休みで、普段は親と離れて住んでいる子どもたちが、夏休みの間だけこちらに住むということがある。そういった場合、その何ヶ月間だけ学校に入るということはできるのか。それから、最近外国籍の子どもたちが多くなってきており、これからも増えていくと考えられる。そのため、多文化共生サポーター等にお世話になると思うが、それ以外にも、例えばポケットクなどの何かコミュニケーション取れるようなものを考えているのか。(教育委員)

A: ポケットクはかなり金額が高いので予算化をしていくことと、使い方についてもよく検討する必要があると考えている。外国籍の子どもが増えていくと、コミュニケーションのツールとして、そういったものが必要になってくる可能性もあるので、検討していく必要がある。ただ、具体的な計画については、まだ進んではない。(事務局)

Q: 最初が一番不安な部分や、共通理解をしなければならない部分をしっかりとおさえるうえで必要だと思うので、例えば学校単位で所持しなくても、教育委員会で何台か所持し、必要な時に貸出するという方法もあるのではないかと考える。(教育委員)

A: クロームブックの中にGoogleドキュメントというものがあり、これを使えば様々な言語の翻訳ができるので、学校では今のところはそういったものを活用してもらいたいという話はしている。ご意見いただいたことも含め、学校と話をしていきたい。それから体験入学については、他の国から来て、夏休みの期間だけ学校に入るということは可能である。ただ、先程お話しされたように言

語の問題が出てくるので、そこをどう対応していくか検討する必要があると考
える。(事務局)

Q:その場合は短期間であっても結核検査が必要になるのか。(教育委員)

A:通常入るときは結核検査が必要になるが、短期間の場合はどうか、また調べて
報告する。(事務局)

■〔教育総務課関連〕

①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・実施設計を進めており、進捗率は5月末で55%。
- ・新幼稚園の園名が「おの幼稚園」に決定した。6月広報で基本設計の公表
と、新幼稚園についての意見募集の案内を行っている。意見募集は6月
23日まで受け付けており、受付期間終了後、意見に対する回答をホーム
ページに掲載する予定。

②学校施設長寿命化対策事業(旭丘中学校)

(進捗状況)

- ・旭丘中学校の校舎について、仮設校舎の建設の進捗率は40%。
- ・6月7日に校舎建設工事の入札を行い、前川建設(株)が1,277,705,
000円で落札した。

(今後の予定)

- ・5月15日に仮設校舎の建設に着手し、竣工は8月中旬になる予定。その
後引っ越しを行い、2学期からは仮設校舎で学校生活が始まる。
- ・9月から校舎の工事に着手していく予定。

③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・6月6日に小野小学校エレベーター設置工事設計業務委託の入札を行い、
(株)小西建築設計事務所が4,730,000円で落札した。

(今後の予定)

- ・エレベーターを設置する位置の検討、地盤調査や測量などの作業に順次入
っていく予定。

④教育総務課情報

1 ICT教育推進事業

○校務用パソコン購入設置(140台) 令和5年5月17日入札落札

令和5年5月19日～9月30日 18,645,000円 オージヤ商事(株)

→教職員用のパソコン約380台(H28購入)について、3年かけて計画的に更新を行う。令和5年度は140台を購入する。

2 学校施設工事等関係

○河合小学校・市場小学校空調更新工事 設計業務委託(6/6入札:不調)
→学校の空調は平成23年度に一斉に整備され、12年が経過し、故障等の不具合が多く、部品の生産も終了しているため修理できない状態であることから、順次更新を行う。

○小野中学校柔道場床改修工事(6/6入札:業者決定)
→柔道場の床組み(束)が老朽化により破損し、床にたわみが生じており、授業や部活動に支障をきたしているため、柔道場の床組み及び畳を更新する。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:河合中学校の外側のバルコニーについて、「劣化した部分が剥がれて落ちてくるような被害」はこれまではないのか。劣化している部分が自動車を停めておられる真上という所もあり心配している。(教育委員)

A:昨年度に業者に依頼し、劣化している部分を全て点検して、落ちそうな部分については剥がしている。学校側にも定期的に点検していただいております。危ないところには落下防止用のネットを張るなどの対処は行っている。それから、本来バルコニーは茶色だが、劣化により白く見えている部分もあり、そちらについても近いうちに対処する予定である。(事務局)

Q:小野中の柔道場について、床が変わり、畳も一新されるということで、良かったと思う。総体の時に柔道場を見たが暗い雰囲気だったので、他にも何か変わることはないのだろうか。(教育委員)

A:今回は床組みと畳の更新になる。畳については、柔道を担当されていた先生の意見も聞きながら、良い畳に更新する予定である。(事務局)

■【いきいき社会創造課関連】

①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・5月19日に文化財保護委員会で意見聴取を行い、計画素案が承認された。
- ・計画素案のパブリックコメントを5月22日から6月9日まで実施。

②コミュニティセンター事業(地域づくり協議会、特色ある取組み等)

(進捗状況)

- ・お の：花いっぱい運動・花苗の植栽を5月27日に開催した。
- ・かわい：河合中学校の屋外運動施設の草刈り、地域貢献事業を行った。
- ・いちば：おのハミングウェイウオーキングを5月28日に開催した。
- ・おおべ：おおべ逆さ桜早朝ウオーク写真展を5月1日から5月31日に開催した。また、花いっぱい運動を5月27日に開催した。

(今後の予定)

- ・お の：三世代交流アジャタ大会を6月11日に開催。
- ・かわい：花いっぱい運動を6月4日に開催。
- ・いちば：花いっぱい運動を6月4日に開催。
- ・きすみの：花いっぱい運動を6月10日に開催。
- ・全 館：寺子屋事業（家庭学習支援等）を6月1日より開始。

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

[いきいき社会創造係]

○第15回小野市詩歌文学賞・

第34回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」

と き：令和5年6月3日（土） 12：30～

と ころ：うるおい交流館 エクラ

第1部 小野市名誉市民称号贈呈式 馬場あき子

来場者約300名、YouTube 視聴回数670回

※名誉市民歌碑除幕式 日時：6/3（土）10:30～場所：好古館 柳風園

[図書館]

○こどもの読書週間

①子どもの本限定リサイクルブックフェア

図書館で役目を終えた図書や家庭で不要になった寄贈本などを利用者は無償で提供

期 間：4月23日（日）～5月6日（土）

②読書ビンゴ

ビンゴ達成した子どもに折り紙で作ったしおり又はメダルをプレゼント

期 間：4月23日（日）～5月22日（月）

③入賞絵本展示

賞をとった絵本を集めて展示

期 間：4月23日（日）～5月22日（月）

④大型絵本のお話会

図書館職員による大型絵本を使ったお話会を一日限定で開催

期 間：5月7日（日）10：30～11：00

⑤朗読会

サークルたんぽぽによる大人向けの朗読会を開催

期 間：5月21日（日）13：30～14：30

○トライやる・ウィーク生徒受入れ（図書館）

期 間：5月22日（月）～5月26日（金）

対 象：小野南中3名、旭丘中3名

期 間：5月29日（月）～6月2日（金）

対 象：小野中5名

〔好古館〕

○トライやる・ウィーク受入

期 間：5月23日（火）～5月27日（土）小野南中学校

5月30日（火）～6月 3日（土）小野中学校

内 容：小野南中学校…昭和展片付け、上田展準備の手伝いほか
小野中学校……馬場先生歌碑除幕式の手伝いほか

参 加 者：小野南中学校 4人

小野中学校 10人

○企画展「生誕百年記念 上田三四二と小野」

「小野市名誉市民受賞記念 馬場あき子の世界」

期 間：令和5年5月27日（土）～6月25日（日）

内 容：生誕100年を記念して、上田三四二と小野市のつながりを
紹介。また、長年短歌フォーラムの選者を務め小野市の文化
向上に寄与された馬場あき子先生の生い立ちや業績を紹介する。

会 場：小野市立好古館 2階展示室

〔コミセン〕

○令和5年度コミセン寺子屋事業の実施決定

区分	実施期間	実施曜日	定員	応募数	受入数 (確定)	実施内容
おの	6月1日～ 2月28日	火・木・ 金曜日	各曜日 10人	29人	29人	宿題等家庭学 習支援、工作 等の体験学習
かわい	6月2日～ 2月28日	月・水・ 金曜日	各曜日 10人	27人	27人	同上

きすみの	6月7日～ 2月28日	水曜日	11人	11人	11人	同上
いちば	6月7日～ 2月28日	水曜日	10人	8人	8人	同上
おおべ	6月7日～ 2月28日	水曜日	10人	10人	10人	同上
下東条	6月7日～ 2月21日	水曜日	10人	1人	僅少のため中止	—

※夏休み・冬休み・祝日は実施いたしません。

<課題・問題、今後改善すべき点など>

①コミュニティスクールが設置された場合の寺子屋事業の在り方

- ・小野市において、将来、コミュニティスクール（学校運営協議会）が設置された場合、コミセンで実施している「寺子屋事業」を「地域学校協働活動」の一部を担う事業（具体的には「放課後子ども教室」）として、そのまま、継続実施できるのか？ それとも、「寺子屋事業」のプログラムを変更する必要があるのか？
- ・コミュニティスクールが設置されるなら、当該協議会での協議を踏まえて、既存の寺子屋事業のあり方が問われることになるものとする。

②保護者アンケートに基づく保護者からの要望

- ・既存プログラムに対する保護者からの評価は全体的に高評価であるが、一方、新たな体験活動への具体的内容として、調理体験（料理教室）をしてほしいとの要望が多数あった。コミセン全体で実現可能かどうかを検討する。

③長期的な視点に立った事業内容の見直し

- ・児童数の減少、家庭教育における多様なニーズ、子どもの居場所づくりのニーズなど、寺子屋事業を取り巻く状況を多角的に分析し、長期的な視点で寺子屋事業の在り方（縮小・拡大・変更・組み換え）を検討する必要がある。
- ・既存のプログラムを継続する一方で、社会情勢に応じた新たなプログラムの提供が求められる。

2 今後の予定

〔図書館〕

○蔵書点検

期 間：6月20日（火）～6月27日（火） 8日間

〔好古館〕

○企画展「そろばん群像－神内信夫写真展－」

期 間：令和5年7月1日（土）～9月24日（日）

内 容：そろばん製造に携わる人びとの写真を撮り続けている神内信夫氏の写真を通して、そろばん製造者の思いを感じ、そろばんの良さを見直す機会にする。

会 場：小野市立好古館 2階展示室

[コミセン]

○独居高齢者等昼食提供支援事業 (市場地区地域づくり協議会)

日 時：6月20日(火) 11:30～

場 所：コミセンいちば 集会室及び調理室

支援内容：独居高齢者に対する昼食の提供(地域高齢者の生活支援)

対 象 者：約40人

○おおべ未来塾「プログラミング体験入門講座」(大部地区地域づくり協議会)

	第1部	第2部
日 時	6月17日(土) 13:30～14:20	6月17日(土) 14:40～15:30
場 所	コミセンおおべ 大ホール	左同
内 容	「ロボットをゴールまで連れていこう」	「カラーコードでロボットを思ったとおりに動かそう」
対 象 者	大部・中番・下東条小学校の小学1・2年生	大部・中番・下東条小学校の小学3・4年生
定 員	20名程度(応募締切6/2)	左同
講 師	広島工業大学工学部電気システム工学科教授 上 康 氏	左同

<図書館 返却ポストについて>

前回ご意見いただいた、図書館返却ポストについて、CDの貸出ケース等には返却ポストに入れられないよう記載があり、ホームページにも掲載されているが、返却ポストには掲示がなかったので、「CDや大型の本は入れないでください」、という掲示をして、対策を行った。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:小野中学校のトライやる・ウィークの最後日が、警報が出たことにより休校になってしまったということで、各事業所に連絡したということか。多方面にわたるので大変だったと思う。(教育委員)

A:前日に休校の判断をしたので、早い段階で連絡することができた。(事務局)

Q:馬場あき子先生の映画がエクラでも上映されるとのことだが、どのように広報や周知を行うのか。(教育委員)

A:市のホームページに掲載する。また、7月号の広報にも掲載する予定である。それから、今回の短歌フォーラムに来られた方にお礼状や冊子等をお配りするので、一緒にチラシを封入し、県内を中心に周知しようと考えている。(事務局)

・短歌フォーラムについて、24時間かけて小野市に到着した受賞者の方がいたり、懇親会でお話した方からは、朝に広島から新幹線で来られてその日のうちに帰られるとお聞きして、短歌フォーラムは皆に大切にされている催しだということがよくわかり、とても誇りに思った。(教育委員)

Q:毎週土曜日の夜にコミセンおおべで日本語教室を開催しており、月に1度、市のボランティアの先生とミーティングを行うのだが、その中で、もしここで地震があったらどうするのか、という意見が出た。コミセンの職員がいらっしやらないときに地震等があった場合、何か対策というのはあるのか。(教育委員)

A:地震の場合はおそらく市全体の話になるので、安全安心メール等で一斉に連絡を流すことになると思う。個別に対応するという事はほぼ不可能だと思うので、それぞれで判断していただくことになると考える。(事務局)

A:夜間や休日の場合であれば、緊急連絡網をもとに、管理人から職員に連絡が行くようになっている。それまでの間は自助の努力が必要なので、むやみに外に出ないようにし、建物の中で安全な体勢を取っていただくことになると考える。(事務局)

Q:災害時の対応について管理人の方々と情報共有はできているのか。(教育委員)

A:業務委託する時の仕様書に緊急時の対応という項目が必ず入っており、緊急時の場合はその施設の本来の管理者に連絡する等、そういった手立ては必ず書いてある。(事務局)

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・6月5日にアルゴでプール管理者講習会並びに体育実技指導者研修会を開催した。
- ・6月19日から6月23日に「ひまわりカード」によるバランスの良い朝食接種率調査を行う。

②第10回小野ハーフマラソン2023

(進捗状況)

- ・6月1日からインターネットによるランナー募集と公募ボランティアの募

集を開始。

- ・ 6月号広報で特集記事が掲載された。

(今後の予定)

- ・ 6月末の区長便で募集要項と公募ボランティアのチラシを全戸配布する予定。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○小野市中学校総合体育大会

日 時：6月16日（金）、17日（土）[予備日：18（日）]

※陸上競技は17日（土）、18日（日）

※新人体育大会開催予定日：9月23日（土）

※陸上競技は10月1日（日）

○第39回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選会

日 程：6月25日（日）

場 所：ユニバー記念陸上競技場

2 社会体育

○第59回町対抗ソフトボール大会

日 程：7月2日（日）予備日9日（日）

場 所：河合運動広場・大池総合公園野球場

○地域スポーツ推進事業（東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会）

日 程：7月1日（土）

場 所：ベルディーホール（多可町文化会館）

3 今後の予定

○第13回スポーツ玉入れ「アジャタ」大会

日 時：7月23日（日）9:00～

場 所：小野市総合体育館アルゴアリーナ

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：総合体育大会について、天候によって延期になる競技を教えてください。また、延期になるのは雨の場合だけなのか。（教育委員）

A：野球やソフトボール等は雨で延期になる可能性はあるが、サッカーや陸上は雨では延期にならない。雨の他に、台風や雷、競技によっては強風で延期になる

可能性もある。延期になる場合もあるので、日曜日に予備日が設けられている。
(事務局)

A:基本的には野球等の土のグラウンドで行うものは雨で中止になる。サッカーの場合は人工芝なので、基本的に雨でも開催する。(事務局)

Q:ひまわりカードについて、とても意味があるものだと思っている。これまでとは変えていきたい部分や、こうしていきたいというような、何か考えられていることはあるか。(教育委員)

A:ひまわりカードの担当とデザインを工夫しようということで話をし、今回はカードのデザインを少し変えていると思う。(事務局)

A:意識を変えることは大事だと考えているので、何か良いアイデアがあれば変えてほしい。(教育委員)

A:下東条小学校の学校だよりの中で、食習慣を大切にすることや、ひまわりカードのことも書かれおり、食育に積極的取り組まれている様子がわかった。朝食接種率調査の結果が気になっているので、また報告してほしい。(教育委員)

6 次回定例教育委員会予定

令和5年7月20日(木) 午後1時30分 4階会議室4-1

7 閉会あいさつ 教育長